

実践『ペルソナ』通信 (No.73)
「ルームウェア」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「ルームウェア」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は65サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斉藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

今回の調査結果から、実践女子大学生はルームウェアと外出用の服を使い分けていましたが、パジャマとルームウェアでほとんど使い分けていないことがわかりました。またルームウェアを買う場所は決まっておらず、かける金額は5,000円未満がほとんどでした。これは使い古した服をルームウェアとするパターンが多いことが原因だと考えられます。その中でも素材は綿が多く、ルームウェアに求められる条件としてリラックスできるかどうか重視されていました。

調査結果のポイント

(1) 外出用の服とルームウェアは使い分けているが、パジャマと使い分ける人は少ない

外出用の服とルームウェアは使い分けていましたが、パジャマと使い分ける人は多くはありませんでした。外出用の服とルームウェアの使い分けを行っている人は90.8%だったことに對し、パジャマとの使い分けを行っている人は23%と少ないことがわかりました。

(2) ルームウェアに着替えるタイミングは帰宅後すぐと入浴後に分かれる

ルームウェアを着替えるタイミングは帰宅後すぐが55%と最も高く、次に多かったのが入浴後で45%でした。実践女子大生のルームウェアの着替えるタイミングは帰宅後すぐ派と入浴後派に分かれることがわかりました。

(3) スウェットやジャージなど、着心地の良いものが重視

着ているルームウェアの格好として最も多かったのはスウェットで17人、次にジャージが15人、外出には着られなくなった服が13人と続きました。実践女子大生は着心地がよく寝やすいものを好む人が多く、またパジャマよりスウェットやジャージをルームウェアとして選択している人が多いことがわかりました。

(4) ルームウェアを買う場所は特に決まっていない人がほとんど

ルームウェアを買う場所は82%の人が決まっておらず、実践女子大生はルームウェアを買う際にショップやブランドなどにこだわりを持たない人が多いことがわかりました。

(5) ルームウェアを買い替えるきっかけは半数以上が「使い古したら」

ルームウェアを買い替えるきっかけで、最も多かったのが使い古したらの54%、次にショッピングで目に留まったら20%、季節の変わり目が18%と続きました。実践女子大生にとってルームウェアは頻繁に買い替えるものではなく、ある程度使い古したら買い替えるものと捉えている人が多く見られました。

(6) ルームウェアにかかる金額は80%の人が5,000円未満

ルームウェアにかかる金額について尋ねたところ、80%の人が5,000円未満と回答していました。またわからないと回答した人が11%でした。このことから実践女子大生はルームウェアにあまりお金をかけない人が多く、低価格のルームウェアを利用している人が多いことがわかりました。

(7) ルームウェアに求めるものは半数以上が「リラックスできるか」

ルームウェアに求めるものを尋ねたところ、最も多かったのがリラックスできるかの52%で、次に動きやすさ・伸縮性が20%、着心地・肌ざわりが17%でした。このことから実践女子大生にとってルームウェアは、着た際にいかにリラックスできるかが重要であることがわかりました。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大学生 1～4年生
- ・調査方法：Google フォームを利用したインターネット調査
- ・調査期間：2018年7月18日～8月19日
- ・有効回答者数：65人
- ・回答者の属性：実践女子大学生 1～4年生 100%

本件調査担当

実践『ペルソナ』研究会

3年 朝野ひかり
齋間新菜
羽田彩乃
松尾久美
渡邊彩里

調査結果データ

(1) 外出用の服とルームウェアは使い分けているが、パジャマと使い分ける人は少ない

外出用の服やパジャマとルームウェアの使い分けを行っているかについて尋ねたところ、外出用の服の服と使い分けを行っている人は90.8%でしたが(図1)、パジャマと使い分けを行っている人は23%と少ないことがわかりました(図2)。このことから実践女子大生はルームウェアとパジャマを同等のものとして捉えているのか、もしくは違う

ものだという認識はあるものの、単に使い分けていないだけなのかが気になりました。

(2) ルームウェアに着替えるタイミングは帰宅後すぐと入浴後に分かれる

ルームウェアに着替えるタイミングを尋ねたところ、帰宅後すぐに着替えると回答した人が全体の半数以上で、次に多かったのが入浴後で40%でした。このことから着替えるタイミングとしては、帰宅後すぐ派と入浴後派に分かれることがわかりました(図3)。

(3) ルームウェアを洗う頻度は夏が最も高い

ルームウェアを洗う頻度は夏が最も高く、毎日洗うと回答した人が42%でした。春・秋は洗う頻度が似ていますが、毎日洗うと回答した人は春が20%、秋が25%と秋のほうが多いことがわかりました。また冬は週に1回未満と回答した人が42%と最も高く、70%以上の人々が週に1回、もしくはそれ以下の頻度でしか洗っていませんでした。これらのことから季節によってルームウェアを洗う頻度は大きく異なることがわかりました(図4)。

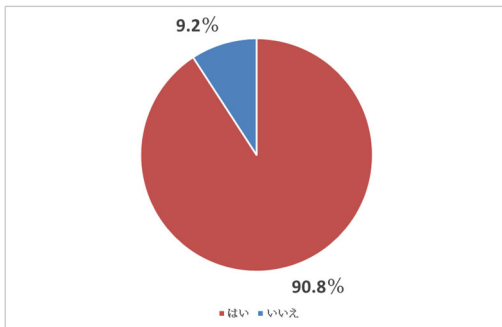


図1. 外出用の服とルームウェアを使い分けているか (N=65)

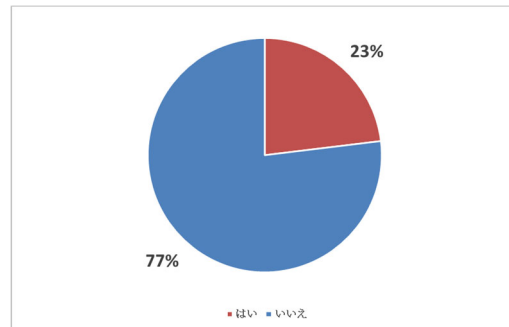


図2. パジャマ(寝巻き)とルームウェアを使い分けているか (N=65)

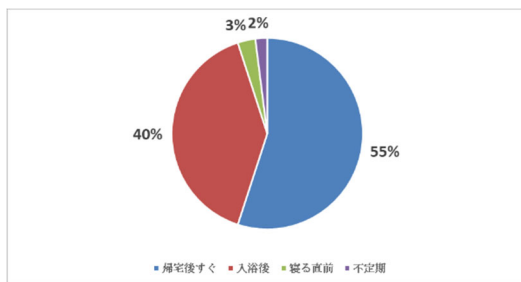


図3. 帰宅後どのタイミングでルームウェアに着替えるか (N=65)

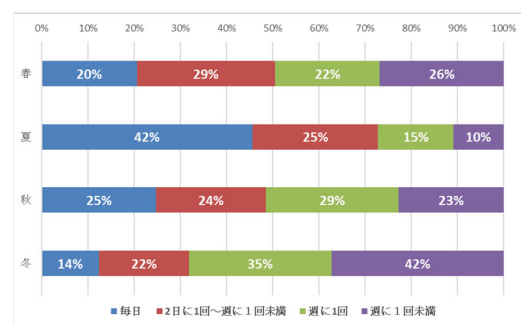


図4. ルームウェアをどのくらいの頻度で洗っているか (N=65)

(4) スウェットやジャージなど、着心地の良いものが重視

着ているルームウェアの格好を尋ねたところ、最も多かったのはスウェットで17人、次にジャージが15人、外出には着られなくなった服が13人と続きました。ルームウェアの格好としては着心地がよく寝やすいものが重視されることがわかりました。また実践女子大生はパジャマよりスウェットやジャージをルームウェアとして選択している人が多いことがわかりました(図5)。

(5) ルームウェアを買う場所は特に決まっていな人がほとんど

ルームウェアを買う場所について尋ねたところ、82%の人が特に決まっていな、11%の人がブランドショップで購入すると回答がありました。ほとんどの人がルームウェアを買う場所は決まっておらず、購入場所はさまざまであることがわかりました(図6)。

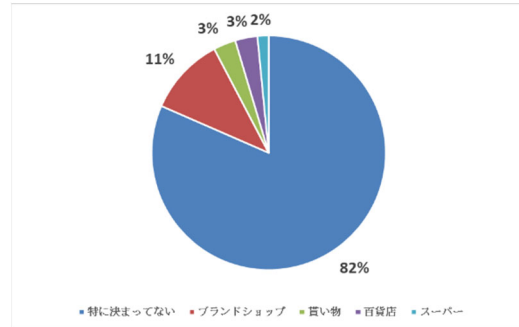
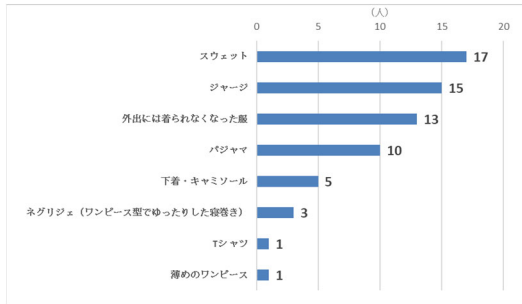


図5. ルームウェアの格好で一番近いもの (N=65) 図6. ルームウェアを買う場所 (N=65)

(6) ルームウェアを買い替えるきっかけは半数以上が「使い古したら」

ルームウェアを買い替えるきっかけについて尋ねたところ、最も多かったのが使い古したらの54%で、次にショッピングで目に留まったらが20%、季節の変わり目が18%と続きました。ルームウェアは頻繁に買い替えるものではなく、ある程度使い古したら買い替えるものと捉えている人が多いことがわかりました(図7)。

(7) 部屋着にける金額は80%の人が「5,000円未満」

ルームウェアにける金額について尋ねたところ、80%の人が5,000円未満と回答されました。またわからないと回答した人が11%でした。実践女子大生はルームウェアにあまりお金をかけない人が多いことがわかりました(図8)。

(8) ルームウェアに求めるものは半数以上が「リラックスできるか」

ルームウェアに求めるものを尋ねたところ、最も多かったのがリラックスできるかの52%で、次に動きやすさ・伸縮性が20%、着心地・肌ざわりが17%でした。このことからルームウェアを着た際にいかにリラックスできるかが重視されていることがわかりました(図9)。

(9) ルームウェアを買う際に重視するものはさまざま

ルームウェアを買う際に重視するものを尋ねたところ、素材が40%、値段が32%、デザイン・形が26%でした。このことから人それぞれルームウェアを買う際に基準があり、素材、値段、デザイン・形それぞれ個人の中で重視するものが異なることがわかりました(図10)。

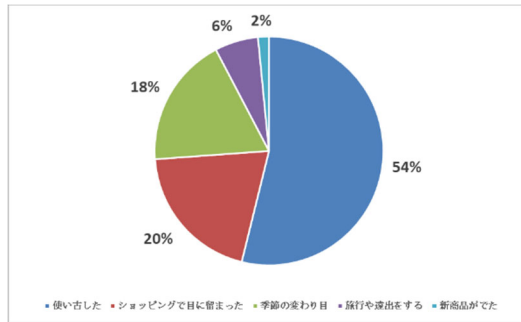


図7. ルームウェアを買い替えるきっかけ (N=65)

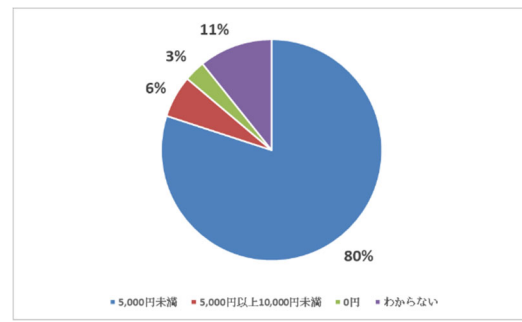


図8. ルームウェアにかける金額 (N=65)

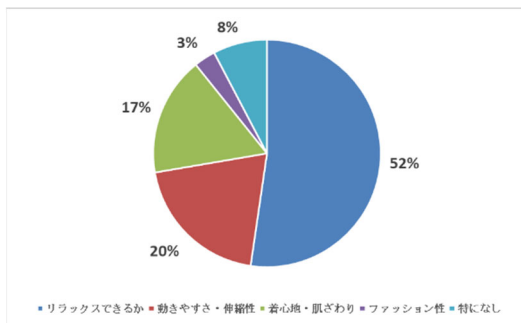


図9. ルームウェアに求めるもの (N=65)

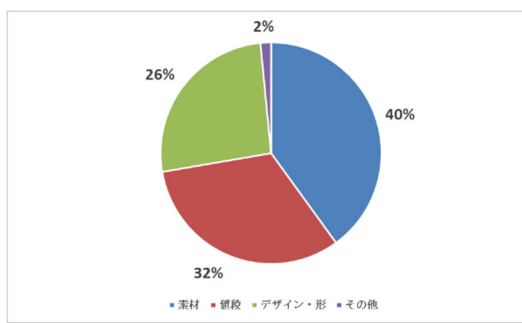


図10. ルームウェアを買うときに重視するもの (N=65)

(10) 柄は無地、色はモノクロが人気

使っているルームウェアの柄について尋ねたところ、49%が無地、次にキャラクターやイラストが描かれているが29%、ボーダー・ストライプが14%と続きました(図11)。また使っているルームウェアの色について尋ねたところ、上下ともにモノクロ(白・黒)が30人以上ともっと多く、次に上は暖色系のパステルカラーが13人、下が寒色系のビビットカラーが13人となりました(図12)。これらのことから実践女子大生のルームウェアの傾向として、無地やモノクロなどシンプルなルームウェアを利用している人が多いことわかりました。

(11) 素材は綿が人気

使っているルームウェアの素材を季節ごとに尋ねたところ、春夏秋冬全ての季節において綿素材のルームウェアを利用している人が多く見られました。次に春夏秋はフリース、冬はウール/フランネルの利用が多く見られました。このことから一般的に綿素材が人気であるが、季節に合わせて素材を使い分けていることがわかりました(図13)。

(12) ゆったりとしたルームウェアが人気

使っているルームウェアの系統を尋ねたところ、ゆったりとしたデザインのルームウェアを利用している人が48人と最も多く、次にかわいいが17人、落ち着いたが13人という結果になりました。このことからルームウェアの系統として最も好まれるのはゆったりとしたものということがわかりました(図14)。

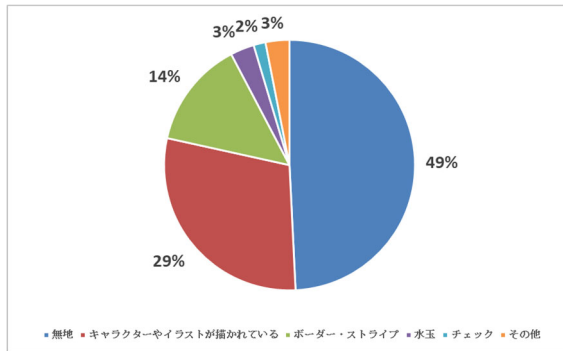


図 11. 使っているルームウェアの柄
(N=65)

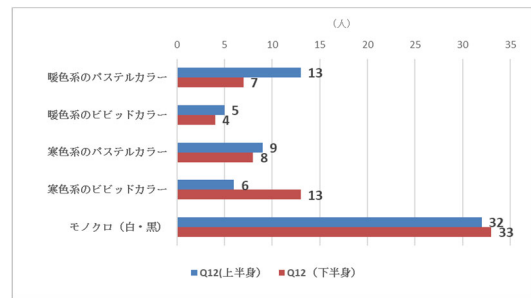


図 12. 使っているルームウェアの色
(N=65)

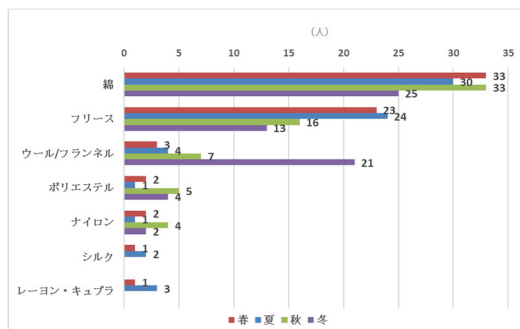


図 13. 使っているルームウェアの素材
(N=65)

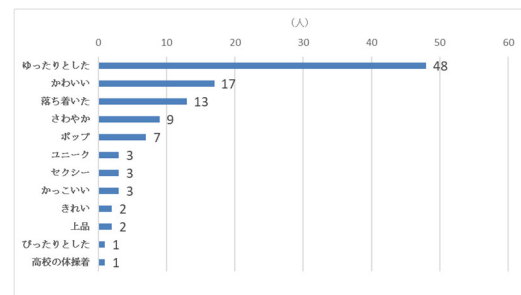


図 14. 使っているルームウェアの系統
(複数回答) (N=65)

調査結果データ

今回の調査から実践女子大生の9割以上の方がルームウェアと外出用の服を使い分けていることがわかりました。また、約7.5割の方がルームウェアとパジャマを使い分けていませんでしたが、ルームウェアとパジャマを同等のものとして捉えているのか、もしくは違うものだという認識はあるものの、単に使い分けていないだけなのかが気になる点としてあげられます。それによって、ルームウェアに着替えるタイミングの調査の見方が変わることが考えられます。実践女子大生の半数以上がルームウェアを買い替えるきっかけは使い古したことであり、8割の人が5,000円未満で済ませていました。また買う場所についても、特に決まっていないと回答した人が8割を占めました。このことから、実践女子大生はルームウェアに対してこだわりが弱く、無頓着な人が多いことが考えられます。ルームウェアに求める条件は、素材が良くゆったりとしたものであり、柄は無地、色はモノクロなど、落ち着いたものが好まれる傾向にあると考えられます。ルームウェアに着替えた際に、リラックスできることが重要であることがわかりました。